

## 静岡県漁業協同組合連合会

1029 静岡市追手町 9-18

15.2.7 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

### 1. 水産庁、平成15年度から地域漁業再生へ担い手定着促進

沿岸漁業者の減少、高齢化により活力が減退している漁村地域の傾向がますます深刻になっている中、都会からIターン、Uターンして新たに沿岸漁業に就労したいという希望は少なくありません。しかし、実際のところ、沿岸漁業の経験、技術、資本が不十分であるため、せっかくの希望を受け入れることが困難というのが現状となっているばかりか、定着しても漁船の確保が困難でもあります。

こうした実情から水産庁は、漁業の担い手確保・育成対策総合推進事業のうち、担い手活動支援事業として「地域漁業再生のための担い手定着促進事業」をスタートさせることにし、一定の組織・事業基盤を備えた漁協(認定漁協)に限定し平成15年度から2年間、初年度7億円の予算で都道府県が事業主体となりスターとすることになりました。

この事業の内容は、沿岸漁業の新規就労者、後継者などの担い手を漁協自営漁業者として受け入れ実務研修の場を提供したり、漁船を研修用に貸与する事業を行う際に事業を適切に実施するための審査、指導、機器整備など、必要な経費を助成するものです。

### 2. 青年漁業士 指導漁業士3名が新たに認定される

県では、去る1月28日静岡市内のホテルに石川県知事を迎え地域の漁業、農業を担う中核的活動を行っている青年漁業士、青年農業士及び後継者育成等に尽力している指導漁業士、農業経営士、特産品づくりなどに活躍する農山漁村ときめき女性と合わせて51名の認定式が本会原会長、県信漁連佐藤会長など水産関係者及び農業関係団体の代表者多数が出席するなか行われました。漁業関係では次の3名の方が認定され、今後の活躍が期待されます。

指導漁業士：山本奉秀(湖西市)、大場 守(舞阪町) 青年漁業士：中野 健(浜松市)

### 3. 県漁協青壮年部連合会 シラス部会を開催

県漁協青壮年部連合会では、青壮年部活動を盛り上げる一つの試みとして、本県の中核的漁業であるシラス船曳網漁業に従事する部員に呼びかけ、去る1月30日(木)大井川町漁協会会議室においてシラス部会を開催しました。当日は、浜名、福田、御前崎、相良、坂井平田、吉田、大井川、焼津、静岡の漁協青壮年部員と県水産振興室、水産試験場、本会と合わせ39名の参加があり盛大な集まりとなりました。まず、各漁港での平成14年度漁期の漁模様の紹介の後、フリートークで懇談が行われました。

主な話題は、水揚げしたシラスの容器(ボウラ)が漁協によって大きさが異なること、シラスの魚価高、漁業規制と遊漁問題、県レベルでの漁青連の活動のあり方、漁業士の推薦について、若手漁業者の横断的な交流の必要性、漁連・水試との活動の連携、今切口の危険

性について、イシカワシラウオの大豊漁など多岐にわたりました。

また、部員の中からは泊りでの開催の提案もあり、初めての試みではありましたが部員間での交流の大切さが実感されました。

### 4. 全国漁協系統02年12月貯金残高 4.9%減の2兆5,395億円

JF全漁連強化本部信用・組織経営部が昨年12月末にまとめた全国漁協系統貯金・貸出金残高が発表されました。それによると貯金残高が2兆5,395億円で前年同月比4.9%減、貸出金残高は9,600億円で前年比0.7%減となりました。

都道府県別の系統貯金残高、貸出金残高ベスト10は次の通りです。

貯金残高(単位：億円) 北海道5,469 長崎1,643 静岡1,394 三重1,217

愛媛1,145 愛知923 千葉891 岩手889 山口851 兵庫715

貸出金残高(単位：億円) 北海道1,752 静岡755 鹿児島569 愛媛536 長崎489 三重440 宮城374 高知327 兵庫316 千葉314

### 5. 第11回静岡県協同組合間提携シンポジウム開催について

協同組合間提携推進協議会(本会、県信漁連、県農協中央会、県森林連、県生協連等7団体)では、来る2月19日静岡市・ブケ東海において食の安全・安心の確立をテーマに第11回静岡県協同組合間提携シンポジウムを開催します。

当日の記念講演では、「どう変わる日本の食の安全・安心」をテーマに 全国農協中央会大消費地販売推進部農畜産物検査・認証事務局長 原耕造氏が講演を行い、続いて「私たちがめざす食の安全・安心」をテーマとして漁業、農業、生協、県の代表者らが参加しパネルディスカッションが行われる予定です。参加希望者は漁政課までご連絡下さい。

### 6. 第34回水産加工技術セミナー開催のお知らせ

県では、新技術の開発・導入による新製品の開発、消費者志向に基づく品質の高度化・安全性の確保あるいは廃棄物の有効利用などを推進するため、第34回水産加工技術セミナーを来る2月26日(火)13:30から県水産試験場において開催しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。講演：「鯉節原料としての海巻カツオの評価」 県水産試験場利用普及部主任 高木毅氏 「魚介類アレルギー問題と研究の現状」 東京水産大学教授 塩見一雄氏 「水産物ブランド化戦略の課題」 東京水産大学助教授 妻 小波(ロウ ショウハ) 参加費：無料 申込期限：平成14年2月17日(月) 定員80名になり次第締切 申込・問合せ先：県水産試験場加工研究室 TEL 054-627-1815又は627-1818 FAX 054-629-7350または627-3084

### 7. 諸会議・日程(2月11日(火)~2月24日(月))

- 既報分省略 -

2月21日(金) 県漁青連 = 研修会・通常総会 (伊豆長岡町)

- 訂正 - 本紙第1028号に掲載しました人事異動内示の牧野里美を牧野美里と掲載しましたのでお詫びして訂正致します。